

「田布施小学校のお田植え踊り伝承活動の取組」

1 学校名

南さつま市立田布施小学校

2 学年・人数

小学生4年生から6年生（計67人）

3 日時・場所

（1）練習の日時・場所

4月中旬から4月29日まで 校区内の各公民館等

（2）発表の日時・場所

4月29日 南方神社及び多布施神社，校区内

4 伝承・活動に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

（1）名称

お田植え踊り（おたうえおどり）

（2）由来

稲作豊穰を祈願し，毎年，南方神社で奉納される。

（3）構成等

3人組踊り（大人12人で構成），金山踊り（小学生16人を中心に構成），2人組踊り（中・高生8人を中心に構成），3人組棒踊り（大人12人で構成）の4つの踊りを披露する。かすりの着物に，色鮮やかなたすきを十字にあや取り背で結び，頭には白鉢巻姿の踊り子が，歌い手の歌に合わせて，鎌やナタ，棒などを丁々発止しながら入り乱れて踊る。鎌踊り，薙刀踊り，金山踊りである。

5 保存会や地域との連携の具体

お田植え踊りは構成等が多種多様で，校区内の各地区の保存会を中心とした取組となっている。児童生徒や保護者を含め地域の方々の協力のもと，地域ぐるみで実施されている。

保存会には幅広い人々が参加しており，先輩が後輩に伝承する形式をとっている。練習は，校区内の各公民館等で夜間に行われるので，子どもたちは保護者が送迎している。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

小学校4年生から中学生・高校生を含めた大人が参加している。最近では，児

童数の減少により、女子児童も参加するようになった。

小学生期からお田植え踊りに参加する児童は、大人になっても踊り続け、保存会のみならず、地域の活性化のために尽くす人材になると考える。

7 取組の様子(練習状況, 発表の場等)



【 多布施神社での奉納 】



【 多布施神社での奉納 】

8 参加児童生徒・保護者・保存会・教員等の感想・意見

(1) 参加児童から

4月の中旬から毎日練習を重ねてきて、体が疲れました。しかし、本番では、地域の方々が拍手をするなど大変喜んでくださったので、これからも頑張りたいです。来年も必ず踊りたいです。

(2) 保護者・祖父母から

親子で参加できたことが大変うれしかったです。ふるさとの伝統芸能に親子でかかわり、多くの地域の方々と触れ合うことができる機会は、大変貴重だと思っています。

(3) 教職員から

子どもたちは、地域で学び、地域で育つ存在です。その地域で、異年齢集団である老若男女が、一つの行事に向かって、日々教え合ったり、学び合ったりできることは、子どもたちにとって、大変貴重な機会だと思います。今後も、お田植え踊りをとおして、子どもたちが地域で学び、地域で育っていくことを願っています。